

第1章 地区検討会の概要

(1) 外環の計画と経緯の概要

国土交通省と東京都では、東京外かく環状道路(関越道～東名高速間)(以下、外環という)について、計画の初期段階から幅広く意見を聴きながら検討を行ってきました。

構想段階では、平成13年に「計画のたたき台」、平成15年に「方針」を公表し、PI外環沿線協議会等様々な場を活用して、幅広く意見を聴きながら、その必要性等の検討を行ってきました。その検討を踏まえ、平成17年には外環の整備による首都圏の交通渋滞や環境の改善、経済効果、都市再生に果たす役割等から、沿線地域をはじめ首都圏全体として、外環の必要性は高いと判断し、構想段階を終了しました。

次の計画段階では、計画概念図を公表し、外環整備に伴う地域環境への影響や対策について、より詳細な検討を行い、東京都知事が平成19年4月に道路構造を高架方式から地下方式に変更する都市計画変更決定を行い、計画段階を終了しました。また、同年12月の第3回国土開発幹線自動車道建設会議の議を経て、国土交通大臣は建設線の区間、主たる経過地などの基本計画を決定しました。

今後は地域の課題に対してどのような対応が可能か具体的に検討していく必要があります。これまで、今後のPIについて、PI外環沿線会議でのご意見、「外環ジャーナル」や「ホームページ」を活用して住民の方から頂いたご意見、有識者の方々からのご意見など多くのご意見を頂きました。国土交通省と東京都では、これらの意見を参考にしながら、今後事業を実施した際に、外環事業をよりよいものとするため、環境対策やまちづくりなど多岐にわたる地域の課題を地域ごとに整理し、その対応の方針をまとめることとしました。とりまとめにあたり、国土交通省と東京都は沿線区市と協力し、地域のみなさんの意見や考え方を取り入れるため、平成20年1月から、沿線の区市において地域課題検討会を順次開催しているところです。

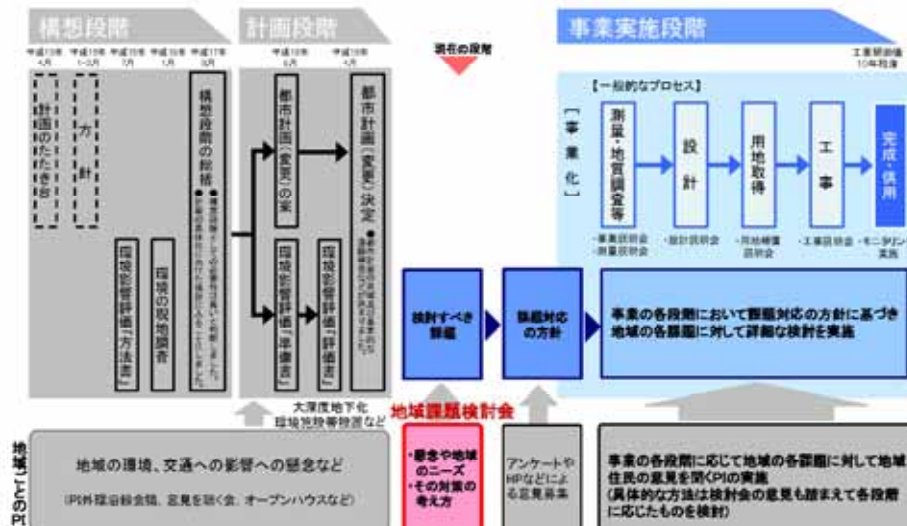


図 検討の経緯と今後の進め方

(2) 地区検討会の開催経緯

○募集メンバー、募集期間

- ・ 地区検討会のメンバーは公募により募集しました。
 - ・ 対象地域：調布市東部地域に在住、在勤、在学の方
 - ・ 募集期間：平成 20 年 5 月 20 日～平成 20 年 6 月 16 日
 - ・ メンバー登録人数：52 名

○第 1 回 平成 20 年 7 月 6 日(日)13:00～17:00 参加人数 42 名

調布市立緑ヶ丘小学校 体育館

- ・ 第 1 回目では、まず地区検討会の趣旨と検討会の進め方についての説明を行った後、5 つのグループに分かれて、グループ検討を行いました。グループ検討では、地元ならではの視点から、三日月地域と呼ばれる地域の分断についての心配、通学路や生活道路への影響、また、換気所からの大気への影響、アクセス道路の早期整備への期待、工事中の影響などが活発に討議されました。

【検討テーマ】

- ・ 地区検討会の趣旨、検討の進め方についての確認
- ・ 外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること



○第 2 回 平成 20 年 8 月 9 日(土) 10:00～17:00 参加人数 32 名

調布市市民プラザあくろす ホール 1・2

- ・ 第 2 回の開催に先立ち、午前中に現場見学会を行い、地区検討会のグループ毎に分かれて、中央ジャンクション（仮称）の計画地周辺を歩き、計画の内容やまちの現状や地域情報について確認しました。また、午後の地区検討会では、第 1 回の検討内容や進め方の確認のあと、前回に続き地域の懸念や期待することなどについて、グループ毎の検討を行いました。午前中の現地見学会も活かしてテーマや場所ごとに、より具体的に内容を掘り下げて話し合い、最後の全体発表で、各グループの話し合いの結果を共有しました。

【検討テーマ】

- ・ 外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること



○第3回 平成20年9月20日(土) 13:30~17:00 参加人数 24名

調布市市民プラザあくろす ホール1・2

- 第3回地区検討会では、前回までに議論していただいた「外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること」を踏まえて、主催者が「検討すべき課題（案）」を提示しました。これをもとに、グループごとに「課題解決のための考え方（アイデア）の方向性と課題の重要度」について、場所や計画の段階ごとにどんな配慮が必要であるかについて検討を行いました。その結果、メンバーから三日月地域等の周辺道路の整備や、換気所への最新技術の導入、利便性が高く安全な環境施設帯の整備などの意見が出されました。その後、全体発表が行われ、各グループの検討結果を共有しました。

【検討テーマ】

- 課題解決のための考え方の方向性と課題の検討時期等



○第4回 平成20年10月18日(土) 13:30~17:00 参加人数 29名

調布市立緑ヶ丘小学校 体育館

- 第4回地区検討会では、前回議論していただいた「課題解決のための考え方（アイデア）の方向性と課題の重要度（案）」を踏まえて、主催者が「課題への対応の方向性と優先度（案）」を提示しました。これをもとに、グループごとに“課題に対する具体的な解決策”“今後の検討の進め方や住民の関わり方”等について検討を行いました。
- メンバーからは、「三日月地域の課題」、「周辺地域の道路整備」、「ETCを活用した利便性の向上」、「工事中の安全への配慮」など具体的なアイデアや意見が出されました。その後、全体発表ではそれぞれのメンバーからも発表が行われ、各グループの検討結果を共有しました。

【検討テーマ】

- 課題解決のための考え方



(3) 地区検討会の検討プロセス

外環整備に伴う地域の課題の解決に向けた対応の方針を検討するにあたり可能な限り反映します。また、対応の方針とりまとめ後も、各段階ごとに引き続き地域の意見を聴きながら、より具体的な対応について検討します。

なお、地区検討会の進め方は以下の通りです。

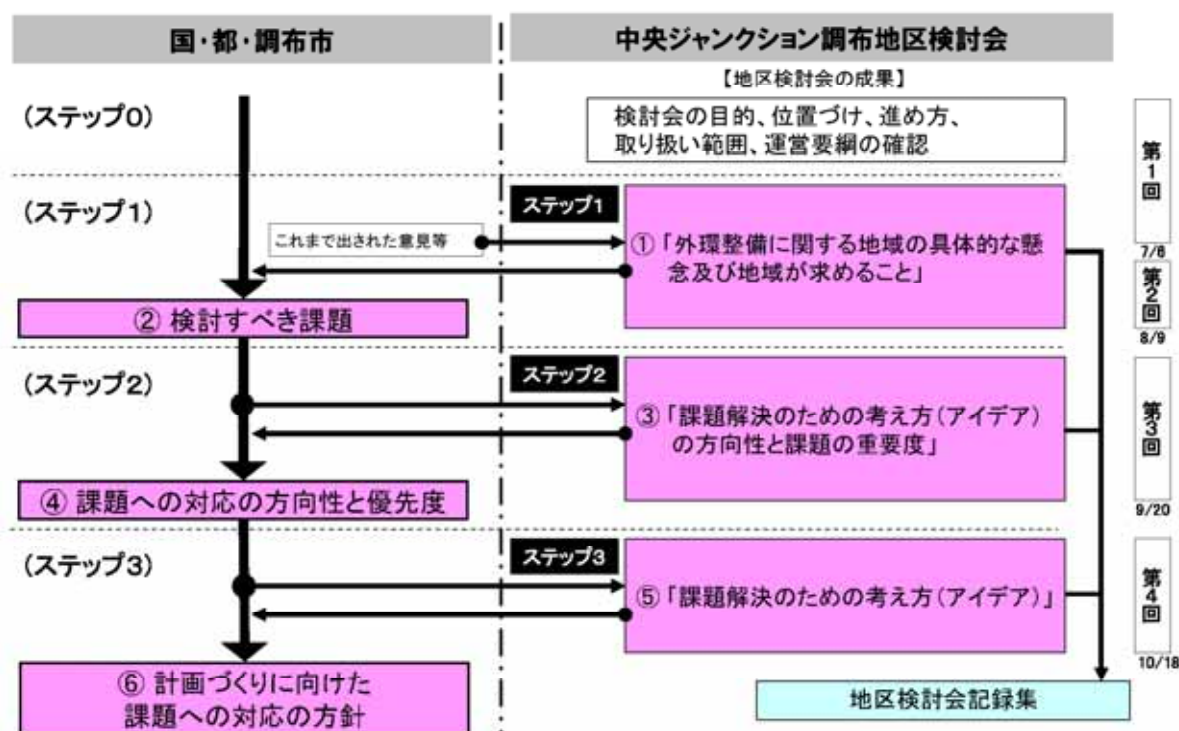


図 中央ジャンクション調布地区検討会の進め方

〈ステップ1〉

①外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること【検討会運営事務局】

- ・ 外環計画が具体化した際、地域にとっての懸念や期待を住民の視点でまとめたものです。

②検討すべき課題【主催者】

- ・ 「外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること」の意見の趣旨を踏まえて、主催者が外環事業やまちづくりを検討する上でそれぞれの立場から現時点で認識した課題を交通、環境などのテーマで分類しまとめたものです。

〈ステップ2〉

③課題解決のための考え方（アイデア）の方向性と課題の重要度【検討会運営事務局】

- ・メンバーが議論した内容と、課題解決のための考え方の方向性を掲載しています。
課題解決のための考え方の方向性は、各グループの進行役が、これまでの議論を踏まえてまとめたものです。

④課題への対応の方向性と優先度【主催者】

- ・外環計画が具体化した際の中央ジャンクション周辺地区における課題に対する対応の基本的な方向性と、課題対応の優先度（検討や対応をどの段階で実施するか）を整理したものです。

〈ステップ3〉

⑤課題解決のための考え方（アイデア）【検討会運営事務局】

- ・課題解決のための具体的な考え方（アイデア）等を住民の視点でまとめたものです。

⑥計画づくりに向けた課題への対応の方針【主催者】

- ・検討すべき課題に対する具体的な考え方（アイデア）等を踏まえて、課題に対する対応の方針を示したものです。